

オープンソースカンファレンス 2011 .Government ～オープンソースと政府・自治体～

わが国の自治体におけるOSS活用とITコスト削減は急務の課題であり、OSSを活用してITコスト削減に取り組み始めた事例も出てきております。しかし、ライセンスや技術サポート、技術者教育、情報やソフトウェアの共有方法、オープンな標準への対応など、課題も多いのが実状です。

昨年秋の開催に引き続き、政府・自治体におけるIT関係者が一堂に会し議論する場として「オープンソースカンファレンス2011 .Government」を開催いたします。基調講演には、奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授、山口 英氏より、日本の行政機関でのOSS利用の低調さの原因と、その解決方法についてお話しいただきます。また、IPAが自治体を実施した調査結果のレビューや、OSSを導入・活用している自治体の担当者より、導入の経緯や苦労した点などお話しいただきます。

この機会に全国の自治体の情報システム担当者の皆様にご参加いただき、今後の方向性を探っていくことができればと思っております。

【オープンソースカンファレンス 2011.Government 開催概要】

- 日 程 : 2011年3月4日(金) 10:00~17:00
- 会 場 : 早稲田大学 西早稲田キャンパス 63号館(203教室)
(東京メトロ副都心線「西早稲田」駅)
- 入場料 : 無料
- 対 象 : 政府・自治体におけるIT担当者
政府・自治体向けシステムに関わる企業担当者
- 内 容 : [基調講演] 行政機関でのOSS利用はなぜ低調なのか
自治体におけるOSS活用・導入事例紹介セミナー 等
- 主 催 : オープンソース実行委員会
- 共 催 : IPA(独立行政法人情報処理推進機構)
早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科
- 後 援 : The Linux Foundation
- 詳 細 : <http://www.ospn.jp/osc2011-gov/>
- 企画運営 : 株式会社びぎねっと

参加する自治体・団体・企業

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)/The Linux Foundation/しまね OSS 協議会
島根県/福岡県/三鷹市/山形県/株式会社 OCC

■ 本件に関するお問合せ先

オープンソースカンファレンス事務局(株式会社びぎねっと内)

TEL 03-5774-9461 E-mail osc2011@begi.net

オープンソースカンファレンス 2011 .Government ～オープンソースと政府自治体～

セミナープログラム

63号館 2F 203教室	
10:00 10:45	<p>第4回「地方自治体における情報システム基盤の現状と方向性の調査」レビュー 講師：岡田 良太郎(IPA オープンソフトウェア・センター 非常勤研究員／マーケット分析 WG 主査)</p> <p>オープンソフトウェア・センターマーケット分析ワーキンググループで実施いたしました本調査は、地方自治体のIT 調達の現場において、IT ガバナンス、業務プロセスの改善に関連してどのような取り組みをしているのか、さらには、技術選択において、サービス調達の浸透度、オープンソースソフトウェアやオープンな技術標準への期待、といったトピックに踏み込んでいます。こうした資料が、調達の自治体の IT 調達担当者、業務推進の担当者が自団体の現状を客観視するための、また、IT サービス提供企業に求められる役割を探るためのヒントとなれば幸いです。本セッションでは、WG 主査が本調査のサマライズをもとに、今後の方向性を探る機会としたいと思います。</p>
11:00 11:45	<p>オープンソースの経済モデル 講師：福安 徳晃(The Linux Foundation ジャパンディレクタ)</p> <p>本セミナーでは Linux を例に、各企業がどのように OSS 活用し、OSS「利用」とコミュニティへの「貢献」を経済的に正当化しているかと説明し、それを通し OSS の利用が世界中で支持をされる理由を明らかにします。</p>
12:00 12:45	<p>山形県における OpenOffice.org 導入 講師：今野 祐一（山形県総務部 総合政策局 情報企画課 基幹ネットワーク調整担当 主査)</p> <p>山形県における OpenOffice.org 導入についての事例を紹介します。</p>
13:00 14:45	<p>【基調講演】行政機関での OSS 利用はなぜ低調なのか 講師：山口 英(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授)</p> <p>システム構築と運用において Open Source Software(以下 OSS)の利用は、企業、研究機関や教育組織では一般的になっている。しかし、わが国の行政機関における OSS の利用は、まだまだ 低調といえるだろう。これは、行政におけるオープンソース型開発ソフトウェアに対する正しい理解が不十分であるだけではなく、行政自らによるソフトウェア開発経験が希薄であることに起因していると考えられる。特に、ソフトウェアのライフサイクル管理基盤の構築と運用を、行政機関が自ら主体的に行う経験がほぼ皆無であるために、システム構築・運営を請け負う業務提供企業に大して丸投げの状態を生み出していることが致命的である。このような状況を改善することは、OSS 開発側の努力だけでなく、行政機関におけるシステム構築と運用を抜本的に変革していくことが必要である。さらにこの変革は、最近の逼迫する財政事情とも整合性が高く、十分に実現可能である。本講では、行政機関での OSS 利用の低調さの原因と、その解決方法について議論する。</p> <hr/> <p>【ディスカッション】行政機関での OSS 利用を促進するには 講師：山口 英(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授) 司会：岡田 良太郎(IPA オープンソフトウェア・センター 非常勤研究員／マーケット分析 WG 主査)</p> <p>講演内容を踏まえて、質疑応答など、OSC .Government 実行委員会とともに、ディスカッション形式で進めていく予定です。</p>
15:15 16:00	<p>沖縄県の OSS を活用した IT ビジネス強化の取り組み 講師：兼村 光(株式会社 OCC IT 開発本部 OSS プロジェクト担当部長)</p> <p>沖縄県は観光産業と並んで情報産業をリーディング産業として位置付けており、IT 津梁パーク構想を推進して産業の集積化を行っている。本構想の中では、OSS を活用して下請け構造から脱却し、自主自律型のビジネスに転換する仕組みの基盤構築が行われている。その基盤は 2011 年 9 月より「琉球ソフトビジネス支援センター」が運用し、県内企業が活用する予定である。本セッションでは、これらの取り組みの意図や狙い、プランなどを紹介する。</p>
16:15 17:00	<p>Ruby で地域振興シンポジウム 講師：島根県(島根県情報産業振興室 杉原 健司) 福岡県(福岡県商工部商工政策課 中島 賢一) 三鷹市(株式会社コミュニティ・クリエイション 佐藤 弘人)</p> <p>Ruby による地域振興を進める島根県、福岡県、三鷹市の取り組みと今後について語り合う。</p>

※内容は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。